

SHINSHU KYODAN RENGO
真宗教団連合 - その4

【真宗興正派 興正寺】

承元元年（1205）の念佛停止により、親鸞聖人は越後に配流されましたが、寺伝によれば、その翌建暦2年（1212）越後から京都に帰られ、山城郡山科の郷に一寺を創建し、“興正寺”と名づけられました。その後、聖人は阿弥陀仏の本願をひろめるため関東行化に旅立たれました。

第七世了源上人は、元応2年（1320）、寺基を洛東竹中の庄、汁谷（渋谷）に移され、ご本尊が光明を放った靈顯により、後醍醐天皇より、「阿弥陀仏光寺」の勅号を賜り、以来一山両号を用いたのであります。その後、故あって、文明13年（1481）、第十四世蓮教上人（経豪）は興正寺を山科西野に再興し、仏光寺はその弟教誉上人が継ぎ、両山に分かれたのであります。

蓮教上人は本願寺の蓮如上人と力をあわせて念佛弘通に奔走されましたが、天文元年（1532）8月、兵火にかかるて山科興正寺は焼失し、第十五世蓮秀上人は幸いにつつがなきをえたご真影を供奉して、大阪天満に法燈をかかげられました。これが天満本山であります。

天正19年（1591）第十七世顕尊上人の時に至り、本願寺と共に寺基を現在の地に移されました。このように蓮教上人以来、興正寺は本願寺と行を共にしていましたが、明治9年、第二十七世本寂上人は興隆正法の実を挙げるべく、敢然として別派独立されたのであります。

山科に興正寺が建立されてより、ここに780余年、幾多の変遷を経ながら法燈は連綿と輝いて今日に至っているのであります。



鐘楼（しょうろう）



三門（空・無相・無願を経て涅槃に至る門）



阿弥陀堂（あみだどう）

本寺内の換気を徹底し、
参拝者はマスク着用を
アルコール消毒液の使用をお願い致します。



講師 松枝崇師
(東広島市河内町入野長照寺)

四月 十日(土)

午前九時、読經(正信偈)
午前九時半、朝席法話
午前十一時半 法要終了

**「宗祖聖人月忌・
門信徒祥月命日法要」** (善教寺本堂)

三月十六日(火) 午後一時半、
*毎月十六日に本堂において勤めております。

**講師 宮武大悟師
久留島法曉師**
(広島市西区観音本町西念寺)
*佛教婦人会主催法要
*仏婦会員追悼法要・仏婦総会開催

三月五日(金) 午後一時半、追悼法要(正信偈)
六日(土) 午前九時半、朝席法話
午前十時半、法要終了
午前十一時半、法要終了
午前九時半、法要終了
午後二時半、追悼法要(正信偈)

今後の法要スケジュール

三月 **五日(金)** 午後一時半、追悼法要(正信偈)
六日(土) 午前九時半、朝席法話
六日(土) 午前九時半、法要終了
六日(土) 午前十時半、法要終了
六日(土) 午前十一時半、法要終了
六日(土) 午前九時半、法要終了
六日(土) 午後二時半、追悼法要(正信偈)

ご縁に感謝
善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/> メール zenkyo@otera.or.jp